

第22回ジャパンオープンハンドボールトーナメント  
試合結果・戦評報告書

|        |          |        |         |      |     |
|--------|----------|--------|---------|------|-----|
| 競技日    | 8月 7日(月) | 試合番号   | A-8     | 回戦   | 準決勝 |
| 種別     | 男子       | 会場     | 福井県営体育館 |      |     |
| Aチーム名  |          |        | Bチーム名   |      |     |
| HC 和歌山 |          |        | FOG     |      |     |
| 得点合計   | 小計       |        | 小計      | 得点合計 |     |
| 26     | 14       | 前半     | 8       | 17   |     |
|        | 12       | 後半     | 9       |      |     |
|        |          | 第1延長前半 |         |      |     |
|        |          | 第1延長後半 |         |      |     |
|        |          | 第2延長前半 |         |      |     |
|        |          | 第2延長後半 |         |      |     |
|        |          | 7mTC   |         |      |     |

戦評

大会3日目の最終試合となる準決勝は、いずれの試合も順当に勝利している HC 和歌山と準々決勝に OSAKASOCIO との激戦を制した FOG の対決となった。

試合は HC 和歌山のスローイングから開始され、HC 和歌山が⑪松波、⑫宮元のシュートで2連取する。その後は、両者粘り強いDFで簡単に得点を許さないものの、HC 和歌山⑬本田の速攻や⑭永井のキレのあるステップシュートでじわじわ FOG を引き離していく。FOG も点差を詰めるためシュートを打ち込むが、HC 和歌山 GK⑮前田の好セーブもあり、得点を奪えない。前半は HC 和歌山が終始主導権を握り、14 対 8 で折り返した。

点差を詰めていきたい FOG は⑯池田の鋭いミドルシュートで後半をスタートさせる。しかし、HC 和歌山もフットワークを活かしたDFと前半から安定感をみせる守護神⑰前田がそれ以上の追撃を許さない。FOG は、大会を通して活躍し続ける HC 和歌山⑭永井にマンツーマンをつけたり、DFシステムの変更にしたりするなど反撃の糸口を探るが、HC 和歌山の巧みなコンビネーションプレイを守ることができなかった。決勝戦には、26 対 17 で HC 和歌山が駒を進めた。



|        |           |
|--------|-----------|
| 記載者氏名  | 立山泰伸、田中 良 |
| 送信日時   | 月 日( ) :  |
| 送信者サイン |           |